

商工観光労働企業委員会 県内所管事務調査の概要

【令和3年5月14日（金）】

◆調査箇所：地域商社株式会社きつとすき（杵築市大字杵築）

＜概要＞

地域商社株式会社きつとすきは、2018年4月に設立され、地域の優れた産品を「杵築ブランド」として振興を図る流通事業、市のふるさと納税業務を一手に担うふるさと納税事業及び観光・教育・福祉分野でドローンを活用するドローン事業を展開している。

地域商社の存在意義として収益性、地域性、持続性を意識しながら街そのもののブランド化を目指している。



＜主な質疑等＞

- ・ドローン観光ツーリズムについて
- ・ドローン物流実証実験について

◆調査箇所：東部振興局

＜概要＞

東部振興局から、管内の概況、企業誘致、観光振興、地域課題の解決に向けた取組など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・新型コロナウイルスの影響による事業所の廃業や撤退について
- ・宇宙港の取組状況について

◆調査箇所：マルトウ物産販売株式会社（別府市石垣東）

＜概要＞

マルトウ物産販売株式会社は、主力商品であるチョコラングドシャを中心に、国内外で幅広く菓子を販売している。

社長自らが精力的に海外を飛び回り、市場調査やバイヤーの意見を取り入れ、粘り強く改善することで販路を拡大してきた。

アメリカではトランス脂肪酸の食品添加が禁止となったため、トランス脂肪酸含有量が少ないマーガリンを使用するなど、輸出国に合わせてスペックを変える工夫を行っている。



＜主な質疑等＞

- ・輸出食品の成分表示、添加物の基準について
- ・輸出国間の価格差や決済方法について
- ・新型コロナウイルスの影響による売上高について

◆調査箇所：竹工芸訓練センター

<概要>

竹工芸訓練センターでは、伝統工芸品としての竹工芸の技能と専門的な知識を身に付けた人材等の職業能力開発を行っている。

また、技術支援業務として、インキュベーション型貸し工房「未来竹房 Bースクエア」を設置し、県内で竹工芸で創業しようとする個人や、創業間もない竹工芸家に作業場所を提供し、創業や自立の支援を行っている。

訓練のカリキュラムや修了生の就職状況、入校生の状況など事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・オープンキャンパスや入校時の試験について
- ・展示室を活用した竹工芸の販路拡大について

【令和3年5月20日（木）】

◆調査箇所：豊肥振興局

<概要>

豊肥振興局から、管内の概況と特性、重点項目、観光振興、地域課題の解決に向けた取組など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・熊本県、宮崎県と連携した広域観光の推進について
- ・フードツーリズムやドローン観光について
- ・新型コロナウイルスの宿泊施設や飲食店等への影響について

◆調査箇所：株式会社成美（豊後大野市犬飼町柴北）

<概要>

株式会社成美は、2014年に大分の地域資源を活用する食品製造メーカーとして法人化された。

2021年3月に新本社工場が完成し、大分の食材や食文化をレトルト食品に加工し製造・販売するとともに、県立大分商業高校の生徒や立命館アジア太平洋大学の学生とコラボ商品の開発を行い、次世代育成にも取り組んでいる。



<主な質疑等>

- ・女性の働き方改革や地元雇用について
- ・品質管理について

◆調査箇所：企業局大野川発電所（豊後大野市犬飼町大塞）

＜概要＞

大野川発電所は、県営最初の発電所で、昭和27年に完成した。年間供給電力量平均値は約6,900万キロワットアワー。現在、リニューアル事業中で、令和3年度中に運転が再開される予定である。

リニューアル事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・水力発電の付加価値を高める取組について
- ・年間の収益見込みについて

【令和3年6月2日（水）】

◆調査箇所：北部振興局

＜概要＞

北部振興局から、管内の概況、地域の産業構造、コロナ禍での地域経済復興に向けた取組、地域課題の解決に向けた取組など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・コロナ禍を踏まえて行われたオンラインツアーの詳細について
- ・製造業での労働力確保や雇用の状況について

◆調査箇所：共栄九州株式会社（宇佐市大字西大堀）

＜概要＞

共栄九州株式会社は、宇佐市内で76年間にわたりリサイクル事業を行ってきた。

現状、焼却・埋め立て処分が行われている太陽光パネルのリサイクルを県内で初めて展開している。今後、発電所の廃止等により大量に排出される可能性がある太陽光パネルの分別処理により、循環型社会の実現が期待される。



＜主な質疑等＞

- ・太陽光パネルのリサイクル工程について
- ・行政への要望について

◆調査箇所：工科短期大学校

<概要>

工科短期大学校は、本県の産業発展、企業の技術力向上に寄与するために、産業社会の変化に柔軟に対応できる専門知識と技能を兼ね備えた人材の育成を目的として設置された。職業訓練の状況、在校生の状況、就職状況など概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・求人状況について
- ・留学生の受入れやサポートについて

◆調査箇所：中津商工会議所青年部（中津市殿町）

<概要>

中津商工会議所青年部は、コロナ禍において、ドライブスルー「選べるおつまみBAL」やドライブインシアター、ラブファンタジアといった新しい生活様式に対応したイベントを実施した。新型コロナウイルスでダメージを受けた地域経済や社会の維持・復興につながる取組を主体的に行い、地域活性化に貢献している。



<主な質疑等>

- ・イベントの告知方法や収支について
- ・イベントの事業継続について

【令和3年6月3日（木）】

◆調査箇所：西部振興局

<概要>

西部振興局から、管内の概況、企業立地、飲食店時短要請の状況、災害からの復興状況など所管事業の概要説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・修学旅行などターゲットを絞った観光セールスについて
- ・時短要請協力金や事業継続支援金の情報発信、情報収集について

◆調査箇所：日田温泉協同組合（日田市隈）

＜概要＞

熊本地震、豪雨災害、コロナウイルスの影響を受けた日田温泉宿泊施設の現況や、滞在型観光拠点整備による新たな魅力創出事業の概要について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・豪雨災害後やコロナウイルスの影響による経営や雇用の状況について
- ・屋形船の流失防止対策について

◆調査箇所：道の駅水辺の郷おおやま 進撃の巨人 in H I T Aミュージアム（日田市大山町）

＜概要＞

進撃の日田まちおこし会議に参加している株式会社 I S A Y A M A が、2021年3月に道の駅水辺の郷おおやまに進撃の巨人の世界観をイメージしたミュージアムを整備した。ミュージアムを拠点とし、日田市内中心部から大山町、大山町から奥日田へと人の流れをつくり、市内の周遊加速が期待される。

